



いわき民報

行所 電381-1222
平市町48 いわき民報
編集発行

優等賞受領

稻方

古川酒造店吟醸

伸び行く平の
資料展開く

國旗を掲揚

記念品贈る

小で祝賀式典 行列や練り廻る

昭和二十二年六月一日平市が市制施行して以来、既に十五周年目を迎えたが市長はこれが市制十五周年記念式典を明治三十三年十月十日から第一小学校講堂・大竹知事・沼田県会議長始地元出身者等、五市長・議会議長、平市会議員、各学校各部員など約五百名を一堂に招待、盛大に進行する。この席上、自治功労者七十名に対し記念品を贈呈されるが、当日は花火で市民と共に市勢の発展を祝賀し、市内小中学校の生徒約九千名は練り廻を実施。伸びる大平市発展の前途を祝賀することになり、祝賀式に行われる諸橋市長の式辭、金古議長の挨拶要旨は別項の通り(眞上は現在の平市、下は市制施行前)

祝賀式順序

▼国歌斉唱▼市長式辞▼議長挨

建設着々進む

諸橋市長の式辭要旨

▼市制施行十五周年

▼愛護看守辞▼万歳三唱終つて祝賀を行つ

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

及び立太子の礼を母子に宣示され

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

に石城文化の中心都市たるの形態

貢えましたことは誠に今昔の感

に打たれるものがあります

▼市制施行十五周年

▼その後昭和三十年飯村

記念式典な

神谷を合併して市制施行當時の

室に於かせられて、豊木子御成年

ひに自治

功労者の表彰式を挙行するは恰も

新生日本の独立第一年、最もも皇

室に於かせられて、豊木子御成年

をもたれてあります。

▼市制施行十五周年

紙齋二千號

社長 野澤武藏

本紙も創刊以来常に重なること、毎日をもつて二千号に達した。一として制限されたため新聞を三日で計算する満年を三百六十日と算する満五年六ヶ月に当るが、日曜祭日が休刊と成っているが、実際はして再刊した新聞は「いわき民報満六年と九月を隔てることによるのである。

終戦直後、貴重の自由が許されや、遅く再起を図り、いわき民報を創刊したのが昭和二十一年六月一日であった。開戦時中、道を通じて今日の地歩を確保する

うと新聞を発行するなど、苦難の年を経て今日の地歩を確保する

ため、一体と成ってこの心の努力を惜しまなかつた。戦後のチャ

ンスもあつたが努力の結果も

これが最初であり、福島民報によると自負している。

勿論、新聞の使命達成のため正規且つ迅速な報道をモットーに、

地方の文化向上と経済発展に貢献し、混乱した思想界にあって正し

い世論の構成に尽して来たこと

が、いわき民報をして社会的に信

化し併せ印刷をより鮮明に

するため明年度内には自動铸造機

を導入し、田刷には海苔新し活字

を活用する計画である。紙面三千

枚を顧みどり、いわき民報をして社会的に信

化し併せ印刷をより鮮明に

するため明年度内には自動铸造機

